

「戸田市議会DCP(案)」

意見募集期間

令和5年 10月25日(水) から 令和5年 11月24日(金) まで

概要

議会は、市としての最良の意思決定を導く使命が課せられています。そこで、戸田市において地震、風水害の発生や感染症がまん延したときに、適切な優先順位をつけ、市の議決機関として議会制民主主義を維持し、災害時に市民の代表として議会が役割を果たすため、必要な指針を定めるものです。

また、戸田市議会が戸田市災害対策本部と連携を図り、災害対策活動を支援するとともに、議員の迅速かつ適切な対応・活動により被害の拡大防止及び災害の復旧・復興に寄与するため、必要な事項を定めるものです。

戸田市議会DCP(案)のポイント

1. 一般的に、災害時における業務継続のための計画はBCP(Business Continuity Plan)ですが、戸田市議会では、議会制民主主義を維持させるための計画として、Democracyの頭文字をとり、DCPとしています。
2. 地震と風水害における対応の違いを想定し、それぞれの対応フロー図を作成しています。
3. 災害時において、会期の変更、延長などについて、議会の議決を得ずに、議長が決定できるようにするなど、柔軟な対応ができるようにしています。
4. 各会派は議会運営委員会委員が欠けた際、会派内の別の議員を委員として選任するための優先順位を定めた選任リストを作成することとしています。そして、実際に出席困難な委員がいた場合は、リストを基に議長と会派で調整の上、同一会派内の議員を委員として選任し、より多くの会派の意見を反映することができます。
5. 市の災害対策本部と連携しながら、必要に応じ市民に情報提供するとともに、各地域での活動に協力します。

